

令和6年7月12日

令和6年度病害虫発生予察注意報（第4号）

和歌山県農作物病害虫防除所

1. 病害虫名：果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ）
2. 対象作物：カンキツ、カキ、モモ、スモモ、キウイフルーツ、ナシ、ブドウ
3. 対象地域：県内全域
4. 発生量：多
5. 加害期間：4月上旬～
6. 注意報発表の根拠

本年は果樹カメムシ類の発生が多く、4月25日付け令和6年度病害虫発生予察注意報（第1号）、5月29日付け病害虫防除技術情報（第3号）および6月21日付け病害虫発生予察注意報（第2号）を発表したところであるが、以降の発生も平年を大幅に上回っており、7月1～5日の予察灯における誘殺数は更に急増している。

- 1) 紀の川市粉河の予察灯における7月1～5日の誘殺数はチャバネアオカメムシが6,491頭（平年94頭）、ツヤアオカメムシが1,921頭（同41頭）であった（図1）。
 - 2) 有田川町奥の予察灯における7月1～5日の誘殺数はチャバネアオカメムシが4,391頭（平年131頭）、ツヤアオカメムシが1,214頭（同41頭）であった（図2）。
 - 3) みなべ町東本庄の予察灯における7月1～5日の誘殺数はチャバネアオカメムシが2,976頭（平年191頭）、ツヤアオカメムシが469頭（同83頭）であった（図3）。
7. 防除上の注意事項
 - 1) 果樹カメムシ類の飛来量はほ場間差が大きく、山林隣接ほ場では被害が出やすい傾向がある。
 - 2) 飛来の多いカンキツ園では落果が多数発生する可能性があるため、防除を徹底する。
 - 3) カキでは「富有」で被害が大きいので、特に注意が必要である。
 - 4) モモやスモモなど収穫期の防除となる品目では、薬剤の使用時期（収穫前日数）に注意する。使用時期が「収穫前日まで」となっている薬剤の場合、収穫は散布から24時間以上経過してから開始する。

- 5) 今後の発生動向については、農林水産部鳥獣害対策課のウェブページ内農作物病害虫防除所の果樹カメムシ情報
 (<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/072000/d00216368.html>) や各地域の振興局、JA 等の情報を参考にする。
- 6) 防除薬剤は最新の登録情報（農林水産省 農薬登録情報提供システム <https://pesticide.maff.go.jp>）を参照し、適正に使用する。

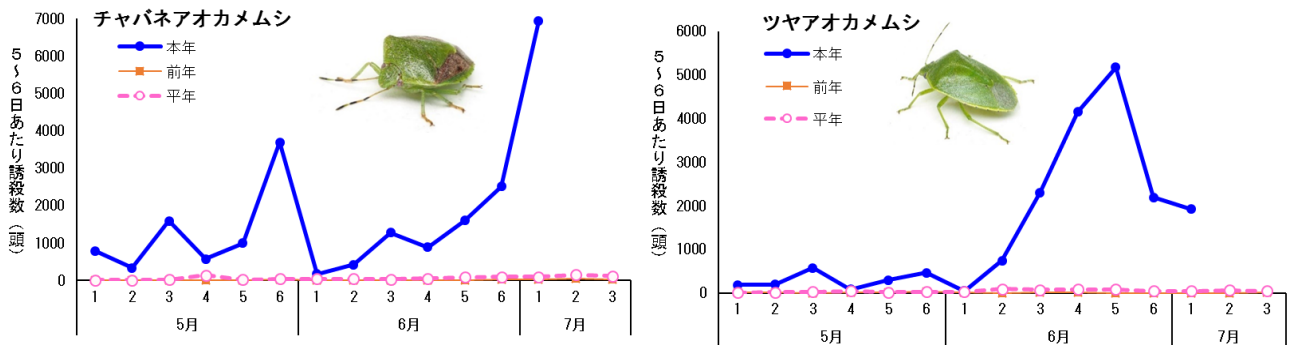


図1 紀の川市粉河の予察灯における果樹カメムシ類の誘殺消長

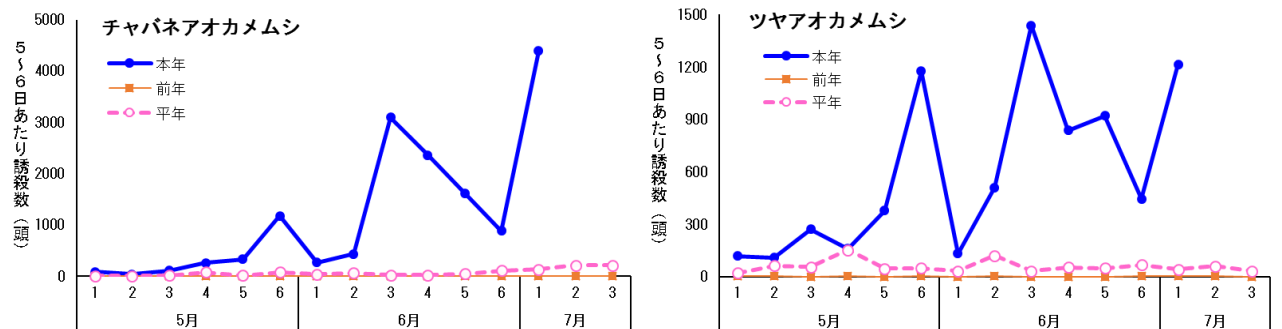


図2 有田川町奥の予察灯における果樹カメムシ類の誘殺消長

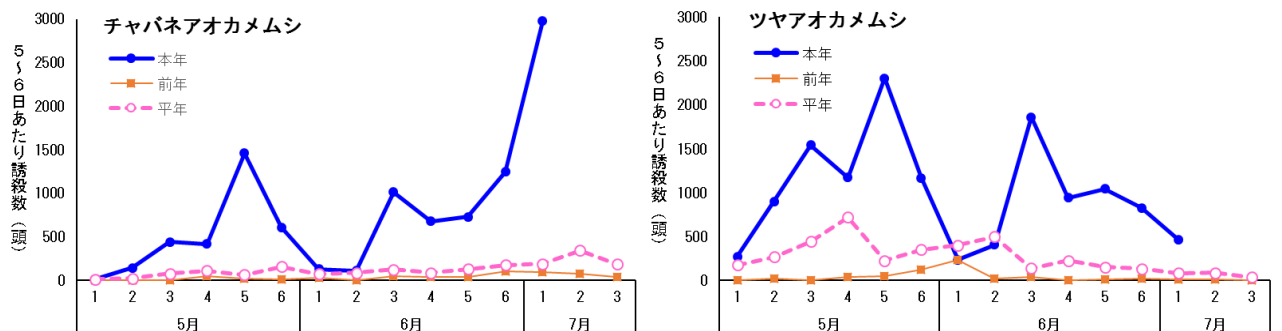


図3 みなべ町東本庄の予察灯における果樹カメムシ類の誘殺消長

図1～3

※図の横軸の数字は半月（1：1～5日、2：6～10日、3：11～15日、4：16～20日、5：21～25日、6：26～30日または31日）を示す。

和歌山県農作物病害虫防除所
 有田川駐在 (TEL：0737-52-4320)
 紀の川駐在 (TEL：0736-73-2274)